

一般選抜 [英語]

1 出題の意図

各日程ともに、Ⅰ整序問題、Ⅱ英文法語法・語彙問題、Ⅲ論説文＋対話文、という3題構成です。Ⅰは、記号ではなく英文を書かせる形式で、Ⅱは選択問題で選択肢は全て4つで統一されています。Ⅰ、Ⅱは、ともに、「論理表現」や「コミュニケーション英語」の教科書や参考書に掲載されているレベルの文や文法事項などが分野に偏りなく出題されており、英語の基礎的な知識を測るのが出題の意図となっています。Ⅲは2部構成で、前半が250～400語程度の論説文で、2題の選択式問題が出題されています。論説文は、25年度には「水資源」、「健康と睡眠」「海洋生物（タコ）の生態」が、26年度には「環境問題（リサイクル）」、「クールジャパン」「日本企業の国際化（IT 関連）」が出題されており、理系・文系を問わず、かなり専門的な題材が幅広く選ばれています。前半2題の選択式問題では、ある程度まとまった長さの論説文の内容理解を測るのが出題の意図となっています。Ⅲの後半は、前半の論説文の話題に関する200～400語程度の対話文で、4題の選択式問題が出題され、最後に、対話文中の話者が発する質問を一つ抜き出し、それに対してどのように答えるか、という形式の自由英作文が1題出題されています。4題の選択式問題では、前半の論説文の内容をある程度ふまえた上での対話の内容理解を測るのが出題の意図となっています。自由英作文の出題の意図は、50～60語程度で自分の考えをまとめる英語運用能力を測ることです。

2 受験対策

(1) 英文法・語法・語彙は、基礎をしっかりと身に付けよう

ふだんから、「論理表現」や「コミュニケーション英語」の教科書や参考書にある例文を学習しましょう。Ⅰの整序問題は、英文を書く形式なので、問題演習の際には、記号ではなく、丁寧な字で速く正確に英文を書く練習をしましょう。Ⅰ、Ⅱともに、問題のレベルは基礎的なので、英文法・語法・語彙を扱った市販の問題集（1000～1500題程度収録のもの）を学習して速く解答できるようになり、Ⅰ、Ⅱを速く正確に解いて難度の高いⅢに費やす時間を確保するようにしましょう。基礎的な英文法・語法・語彙の知識があれば、Ⅲの最後に出題される自由英作文についても、自分に可能な範囲での解答が可能になります。

(2) 長文読解は、内容の難しさにとまどわないようにしましょう

Ⅲの前半の論説文は、ある程度まとまった長さで難度も高いので、受験生個人が知らない話題が出題されると、内容を把握しにくく全文を読み切るのに時間がかかる可能性があります。しかし、一語一句を理解できない時でも、設問の選択肢が内容理解のヒントになります。また、後半の対話文も前半の論説文の内容を把握するヒントになることがあります。前半の論説文では、まず全体に目を通し、設問の選択肢をヒントにしながら設問に解答し、自信がない設問については、さらに後半の対話文をヒントに考えるようにしましょう。なお、このような形式、レベルの問題は他にあまり例が見られないので、過去問での演習が有効となります。

(3) 自由英作文は、50語程度で自分の考えを述べられるようにしましょう

25年度は「水を節約するために何を提案するか」、「より良い睡眠をとるために何をするか」、26年度は「環境問題を解決するために何かしているか」、「生産性を高めるために日本人は働き方を変えるべきだ

と思うか」などの質問に答える問題が出題されました。前者（25年度）のタイプの質問であれば、I think など書き出し、後者（26年度）のタイプの質問であれば yes や no で返答してから自分の考えを書き出すようにしましょう。過去問での練習の他、英検準2級の「ライティング」なども50語程度の英語で自分の考えを書く良い練習となるので、うまく活用しましょう。また、難度の高い設問だからと言って、難度の高い語彙等を使わなければならないということではありません。自分の英文法・語法・語彙の知識に可能な範囲で、たとえ50語に達しないとしても、自分なりの意見を英語で表現できるようにしましょう。